

常磐短期大学創立五十周年記念誌



1966-2016

The 50th Anniversary of Tokiwa Junior College





2015年

## 校舎外観



1980年頃



## 通学風景



2016年



1968～1969年頃

## CONTENTS

2	あいさつ・建学の精神 学校法人常磐大学 理事長 森 征 一 常磐大学・常磐短期大学 学 長 富田 信徳
4	諸澤みよ 創立者の歩んだ道
6	五十年のあゆみ 1966～1967 学問の地水戸に、常磐学園短期大学開学 1968～1980 社会や生活に密着した学科がスタート 1981～1995 経営と情報を学問として捉える新学科 1996～2005 教養学科と経営情報学科の統合で新たな未来へ 2006～2015 より高度な専門教育を目指して進化
18	学校行事の変遷（入学式・ときわ祭）
20	2015年度の学生活動
22	航空写真 1975頃 1986 1995 2015
26	施設の変遷
28	つながり ～世代を超えたトキワ 長岡 早紀 さん(キャリア教養学科 2015年度卒業生) 打越 一子 さん(教養科 1986年度卒業生) 大谷友珠美 さん(幼児教育保育学科 2年生) 大谷 倫子 さん(幼児教育科 1978年度卒業生)
28	校歌
30	資料編 授業科目一覧(1966, 2015) / 教員名簿(1966, 2016)



常磐短期大学は、1966年、豊かな学問の伝統が息づく水戸市の姫ヶ丘に誕生し、本年、2016年をもって創立50周年を迎えることができました。これもひとえに、卒業生をはじめとする関係者の皆様すべてのご支援のたまものと深く感謝申し上げます。

創立者の諸澤みよ先生は、人それぞれが生まれ持つ能力を花開かせて、社会で生きる力として実らせる学びが実学というものであり、それを通して竹のような強さを身につけた人が育つことを願い、本学を設立しました。

竹は風雪に耐えるしなやかな強さを持っています。竹が強いのは、一本一本がそれぞれ強固な節でつながって、自ら真っ直ぐに成長する性質と、一本一本が根っこでつながり、互いに支え合って生きていく性質を兼ね備えているからです。

強い人間は、竹のように、自立と共生の精神を持った人です。自分の頭で考え決断し、周囲の人々と手を取り合って友情の輪を拡げ、地域や世界の人たちと共に生きていける竹人(たけびと)こそ、新しい価値を創造して、時代を変え、よりよい社会をつくることができる人である、と先生は考えられたのです。

先生を敬愛する人々が姫ヶ丘に集い、学び、先生の教えを営々と受け継ぎながら、本学の輝かしい歴史と伝統を築き上げてきました。

現在、卒業生は多方面で活躍し、社会に大きく貢献しています。本学は今後も建学の精神を守り、人と知が交流する、地域と世界に開かれた大学を目指し、卒業生の皆さんと共に次の50年に向かって歩んでいきたいと思っています。



学校法人常磐大学 理事長

## 森 征一

Seichi Mori

### 略歴

西洋法制史(中世ローマ法学)専攻。一橋大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。慶應義塾大学助手、専任講師、助教授、教授を経て、2001年同大学法学部長・大学院法学研究科委員長。2005年学校法人慶應義塾常任理事、同年まで法文化学会理事長を務める。2010年学校法人常磐大学常任理事、2011年より常磐大学・常磐短期大学長、2012年より学校法人常磐大学理事長就任。



## 建学の精神

常磐短期大学開学から今日まで、50年の歳月を歩んできた歴史のページには、様々な移り変わりが刻まれています。1909年に女性の自立を支える私塾として開学して以降、幼稚園から中等教育学校、高等学校、短期大学、大学、大学院までを擁する総合学園となった今も、創立者の意志を受け継ぐ「実学を重んじ、真摯な態度を身につけた人間を育てる」を建学の精神に、社会に貢献できる人材の育成に努めています。

常磐短期大学創立50周年にあたりご挨拶を申し上げます。

本学は1966年4月に常磐学園短期大学として創設され、2016年4月に50周年を迎えることができました。この間本学の発展のために、多くの方々から様々なご支援やご協力を頂戴いたしました。このことにつき、まずもって厚く御礼申し上げます。

この50年の間には、2回の名称の変更や数回の改組等がありましたが、本学は一貫して、「実学を重んじ真摯な態度を身につけた人間を育てる」との「建学の精神」に基づき、「自立」「創造」「真摯」の「教育理念」を堅持して参りました。またそれを通して、「自己を高め、相互に協力し、未来を拓くことのできる人材を育成する」との本学の「ミッション」を果たしてまいりました。

改めて申し上げるまでもなく、現在わが国では、グローバル化、都市化、過疎化、少子高齢化などに伴う様々な困難な課題に直面しております。このような状況において、これらの課題に取り組み、その解決策を提案することができる能力が強く求められています。本学の「建学の精神」における「実学」とはまさにそのような課題の解決に役立つ学問に他ありません。

本学は今後も、この「実学」重視の伝統を継承し更に発展させて、課題解決力を身につけた、社会貢献のみならず自分自身の成長を目指す真摯な人間を育てる所存であります。皆様におかれましては、本学のこのような理念や方針についてご理解いただき、引き続きご指導・ご鞭撻をいただければ幸いに存じます。

以上甚だ簡単ではありますが、ご挨拶に代えさせていただきます。



常磐大学・常磐短期大学 学長

### 富田信穂

Nobuho Tomita

#### 略歴

専門：犯罪学・被害者学・被害者支援。慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得満期退学。常磐大学人間科学部助教授、教授を経て、2010年9月同学部長。2014年4月常磐大学副学長。2015年4月より現職。日本被害者学会理事、公益社団法人いばらき被害者支援センター理事長などを兼任。

# 諸澤みよ

私塾から始まった学びの場は、学校法人常磐大学にまで成長しました。その生みの親、諸澤みよの生涯は、高い志と情熱をもって、女子教育一筋に歩んできた日々の積み重ねでした。

## 小田木裁縫教授所開設

小田木(諸澤)みよは、1887(明治20)年12月に、東茨城郡飯富村(現水戸市)で生まれました。生家は藤井川のほとりで製茶・製糸・田畑耕作を大規模に行いつつ、米穀商も兼ねた裕福な家庭でした。飯富小学校尋常科から高等科に進みましたが、進学したのはみよ以外は全員男子でした。教育熱心でしたが、封建的でもある家庭で成長したみよは、女性の置かれている立場に疑問を感じるようになります。

福沢諭吉の実学主義に感銘を受けたみよは、教育者になることを決心し、裁縫に関する知識と技能、指導法を研修するために女子共立会に入学しました。在京中には、裁縫研究の他に、近代思想の先駆者や教育界の若きリーダーたちの講演会にも出席し、教養を積みました。

母の勧めに応じて1909(明治42)年に22歳で帰郷したみよは、水戸市に小田木裁縫教授所を開きました。裁縫教授所の教科は、和裁・洋裁・礼法・日本刺繍・押絵・造花・びん細工など多岐にわたりました。中でも裁縫指導には力を注ぎ、裁縫理論は現在の学校方式の一斉指導を取り入れた画期的な手法でした。

諸澤道之介と結婚し、諸澤裁縫教授所となった私塾は評判になり、県立の女学校を卒業した名家の子女が県内各地から入学するようになりました。みよが諸澤裁縫教授所で行った教育は、生活能力を身につけた職業婦人養成の教育であったため、まさに新しい時代に向けた女子教育の要請に合致するものだったのです。



1966(昭和41)年 勲四等瑞宝章受章当時の諸澤みよ(79歳)



1917(大正6)年 裁縫教授所の塾生と(最前列左から7人目がみよ)



1918(大正7)年 裁縫教授所授業風景

## 水戸常磐女学校創立

諸澤裁縫教授所を開設して12年を経た1921(大正10)年には、生徒数は増加し100名近くになっていました。かねてから学校設立の夢を抱いていたみよは、独立して生きていける知識や技術あるいは資格を身につけさせ、さらに人間としても立派な女性を教育したいという情熱に突き動かされ、1922(大正11)年3月、茨城県知事の認可を受けて水戸常磐女学校を設立しました。水戸常磐女学校は、本科・専攻科・研究科の3課程を設置し、特に裁縫の実力養成に重点を置いたため、「常磐の卒業生は実社会で役に立つ」と評価されるようになりました。



1923(大正12)年  
水戸常磐女学校研究科  
(前列中央は諸澤みよ・道之介)



1932(昭和7)年水戸常磐女学校 校舎正門

## Ⅰ 常磐高等女学校併設

昭和6、7年頃になると、普通科の教育を希望する生徒が増え、高等女学校の併設を望む声が父兄から高まりました。みよは、道之介の協力のもと、高等女学校令による学校の併設に取り組み、1935(昭和10)年3月、文部大臣より設立許可認定を受け、修業年限4カ年、生徒定員200名の常磐高等女学校を誕生させました。自己の全財産を投入し、親戚の理解と協力を得てまでも、高等女学校の新設に意欲を燃やした夫妻の決意は、まさに教育者の鑑と言えます。



大洗遠足



1940(昭和15)年 薙刀体操

## Ⅱ 常磐学園短期大学開学

社会が求めるより優れた人材を育成するために、さらに高度な女子教育に取り組みたいとする気運が1964(昭和38)年頃から高まり、翌年には、みよの後継者となる諸澤幸雄、みさを夫妻が短期大学設立に向けて具体的な準備と調査に着手しました。同年5月に水戸市見和(現在のキャンパス)に5,135坪の敷地を確保し、短期大学建設がスタートしました。設置学科については、学園設立の精神に叶った女子の特性を生かすことができる家政科家政専攻・家政科食物栄養専攻で出発し、数年後に幼児教育科を増設するという方針が決定されました。1965(昭和40)年8月に、法人理事会評議員会において、学長には諸澤みよ、副学長には諸澤幸雄という決定が下されました。1966(昭和41)年3月13日、学園にとって、そして諸澤みよにとって意義深い常磐学園短期大学落成開学式が晴れやかに举行されました。女子教育一筋に歩んできた諸澤みよの夢と願いが常磐短期大学という形になり、そこからさらなる未来が広がっていくことになったのです。



1965~1966(昭和40~41)年 短大本館遠望



1966(昭和41)年 短大開学式 学長式辞



1966(昭和41)年 短大開学式



1966(昭和41)年 短大開学式 文部大臣祝辞



1966(昭和41)年 短大開学式パーティー

# 五十年のあゆみ

## 学科・入学定員の変遷

	1966年～		1968年～		1975年～		1987年～		1990年～		2002年～		2003年～		2008年～		
入学定員 総数	1966年 80名	1976年 120名	1968年 170名	1971年 190名	1974年 240名	1975年 290名	1976年 380名	1981年 430名	1987年 430名	1989年 450名	1990年 500名	1966年 400名	2000年 400名	2002年 400名	2003年 400名	2008年 280名	2016年 240名
家政科 家政専攻	1966年 40名																募集停止
家政科 食物栄養専攻	1966年 40名	1976年 40名→80名															募集停止
生活科学科 生活科学専攻																	
生活科学科 食物栄養専攻																	
幼児教育科																	
幼児教育科																	
幼児教育保育学科																	
教養科																	
教養科																	
キャリア教養学科																	
経営情報学科																	
入学定員	1966年 50名	1974年 50名→100名	1968年 50名	1974年 50名→100名		1975年 50名	1976年 50名→100名	1981年 100名→150名	1987年 150名	1990年 150名→100名	1966年 100名→80名	2000年 80名→100名	2002年 100名→120名	2003年 120名→140名	2008年 130名→140名	2016年 140名→100名	
入学定員																	
入学定員																	

※常磐短期大学の生活科学科食物栄養専攻を改組し、常磐大学人間科学部に健康栄養学科を設置。



# 沿革

1966 (昭和41)年	常磐学園短期大学設置認可(1月25日常磐短期大学創立記念日) 常磐学園短期大学を開学(家政科家政専攻、家政科食物栄養専攻)
1968 (昭和43)年	常磐学園短期大学に幼児教育科を設置
1969 (昭和44)年	常磐学園短期大学附属幼稚園設置認可
1970 (昭和45)年	常磐学園短期大学附属幼稚園を開園
1975 (昭和50)年	常磐学園短期大学に教養科を設置
1983 (昭和58)年	常磐大学設置認可 常磐大学を開学(人間科学部人間関係学科、コミュニケーション学科)
1987 (昭和62)年	常磐学園短期大学の学科名称変更 (教養科を教養学科、幼児教育科を幼児教育学科、家政科家政専攻を生活科学科生活科学専攻、家政科食物栄養専攻を生活科学科食物栄養専攻)
1988 (昭和63)年	常磐大学の人間科学部に組織管理学科を設置
1989 (平成元)年	常磐大学大学院に人間科学研究科人間科学専攻修士課程を設置
1990 (平成2)年	常磐学園短期大学を常磐大学短期大学部に名称変更し、経営情報学科を設置、男女共学化
1993 (平成5)年	常磐大学大学院に人間科学研究科人間科学専攻博士課程(後期)を設置
1996 (平成8)年	常磐大学に国際学部を設置(国際協力学科、国際ビジネス学科)
1999 (平成11)年	常磐大学短期大学部を常磐短期大学に名称変更
2000 (平成12)年	常磐大学にコミュニティ振興学部を設置(コミュニティ文化学科、ヒューマンサービス学科) 常磐女子高等学校を常磐大学高等学校に名称変更し、男女共学化
2002 (平成14)年	常磐短期大学の幼児教育学科を幼児教育保育学科に名称変更
2003 (平成15)年	常磐短期大学の教養学科および経営情報学科を募集停止 常磐短期大学にキャリア教養学科を設置
2004 (平成16)年	常磐大学大学院にコミュニティ振興学研究科コミュニティ振興学専攻修士課程を設置 常磐大学の人間科学部人間関係学科および組織管理学科を募集停止/ 国際学部国際協力学科および国際ビジネス学科を募集停止/ 人間科学部心理教育学科および現代社会学科を設置/ 国際学部国際関係学科(国際協力学専攻、国際ビジネス学専攻)および英米語学科を設置
2005 (平成17)年	学校法人名称を「常磐学園」から「常磐大学」に変更 常磐大学大学院に被害者学研究科被害者学専攻修士課程を設置 常磐短期大学附属幼稚園の名称を常磐大学幼稚園に変更
2006 (平成18)年	常磐大学のコミュニティ振興学部に地域政策学科を設置
2007 (平成19)年	智学館中等教育学校設置認可
2008 (平成20)年	常磐大学の人間科学部心理教育学科を募集停止/ 国際学部国際関係学科(国際協力学専攻、国際ビジネス学専攻)を募集停止/ 人間科学部に心理学科、教育学科および健康栄養学科を設置/ 国際学部に経営学科を設置 常磐短期大学の生活科学科食物栄養専攻および生活科学科生活科学専攻を募集停止 智学館中等教育学校を開校
2013 (平成25)年	常磐大学大学院に被害者学研究科被害者学専攻博士課程(後期)を設置
2016 (平成28)年	常磐大学大学院の被害者学研究科被害者学専攻修士課程・博士課程(後期)、 コミュニティ振興学研究科コミュニティ振興学専攻修士課程を募集停止



校舎全景

# 1966-1967

昭和41年—昭和42年

## 学問の地水戸に、常磐学園短期大学開学

常磐学園短期大学が開学したのは、今から50年前の1966(昭和41)年です。水戸に高等教育機関を設けたいという初代学長、諸澤みよ先生の思いが結実し、より優れた人材育成のためにさらに高度な教育に取り組みたいという、学園の目指す未来がスタートしました。開学時は家政科家政専攻、家政科食物栄養専攻の1科2専攻の構成で、4月15日に119名の学生を迎えて第1回入学式が盛大に行われました。常磐学園短期大学は、それまで主流であった料理、裁縫、育児を中心とした家政学を教えるのではなく、これからの時代にふさわしい教養と生活能力のある女性を育てることを目標としました。開学から50年の歳月を経た今日まで、様々な変遷がありましたが、常に変わらないのは教育に対する精神です。「広い視野、高い知性と教養、豊かな愛情、そして真摯な生活態度」、この精神は現在も息づき、これからもずっと受け継がれていきます。

### 私の思い出…

### 諸澤みよ先生のご講話が今も心に残ります



中崎 啓子

第1回卒業生(家政科家政専攻)、元常磐大学幼稚園長(2016年3月退職)、同窓会「みわの会」会長。

学生時代の事で今も心に残っているのは、創立者の諸澤みよ先生のご講話です。今をどう理解し、将来に向かってどう生きなければならないのか。特に女性として、どんな努力が必要なのかを具体的にお教えました。諸先生方も実力と指導力がおありで、暖かく時には厳しいご指導をくださったおかげで、私の今があると感謝しております。常磐短期大学が創立50周年を迎えることを、心からお慶び申し上げますとともに、ますますのご発展を祈念いたしております。これからも創立者諸澤みよ先生の意志を受け継いだ建学の精神をもとに、沢山の卒業生に遅しく活躍していただきたいと思います。私も卒業生の一人として、精一杯悔いのない日々を過ごしていきたいと思います。



在学当時の1枚



第1回入学式



1966～1967年 家政科家政専攻



1966～1967年 家政科食物栄養専攻



## その時代 [1966～1967]

戦後復興の象徴となる「東京オリンピック」が、1964年10月10日に開幕しました。新幹線や高速道路が整備され、大都市東京の様相は目まぐるしく変化します。そのころ地方都市では、自動車の普及によって地方私鉄が次々と廃線となり、水戸市街を走る路面電車も姿を消しました。新旧が激しく入れ替わり急成長する社会を背景に、実務者の早期養成、女性の高等教育への要望が高まり、1966年に常磐短期大学は開学しました。



水戸市内を走る路面電車

## 学校法人常磐大学及び世界・地域の出来事

- 1961年 第1回七夕黄門まつり開催
- 1963年 茨城放送開局、放送開始
- 1964年 第18回オリンピック東京大会開催
- 1966年 **常磐学園短期大学設置認可**  
**常磐学園短期大学を開学**  
 千波大橋開通  
 県立文化センター落成式  
 茨城交通水浜線電車廃止  
 ザ・ビートルズ、日本武道館で公演  
 中国で文化大革命  
 国道6号水戸バイパス工事始まる
- 1967年 原電東海発電所原子炉臨界、営業運転開始  
 市内全小学校完全給食となる  
 木村傳兵衛14代市長となる  
 水戸線電化開通



1975～1976年 幼児教育科/教養科

# 1968-1980

昭和43年—昭和55年

## 社会や生活に密着した学科がスタート

短期大学開学当時から、幼稚園教諭や保育士の養成は国の重要課題であり、社会的な要請でもありました。そのような状況に応えるため、1968(昭和43)年に幼児教育科がスタートしました。幼児教育科では、豊かな人間性を育てること、実践的な能力を鍛えることに力を注ぎました。1970(昭和45)年には附属幼稚園を開設し、幼児教育の実習がより効率的に行えるようになりました。幼稚園教諭2級普通免許と保育士資格が取得できることから、年々入学志願者が増加したため、1974(昭和49)年から定員を2倍の100名にしました。また、1975(昭和50)年には、生活に密着した一般教養が学べる学科として、教養科を開設しました。国際化が進行することを見据えて、人文・社会・自然にわたる広い専門的教育を高め、国際的視野に立つ、新しい女性の教育を目指した学科です。当初は秘書コースと教養コースの2コースでスタートし、さらに国際的視野を持つ人材の育成を強化するため、1980(昭和55)年に、全国の短期大学で初の国際コースを開設しました。

私の思い出…

「常磐短期大学ここにあり！」となることを祈念します



鎌田 道夫

幼児教育保育学科教授、学科長、常磐短期大学附属幼稚園長を経て2012年3月退職。

私が在職していた時の幼児教育学科は、教員と学生がとにかく身近でした。そして、明るく活発な学生が多かったです。幼児教育者になるという明確な目標を持っているため、子どものためにいろいろなスキルを身につけたいという、熱心な学生が圧倒的でした。私の研究室は学生のサロンのようなもので、よく学生が集まってはいろいろなことを話していました。退職後の私は、画業に専念する日々です。常磐短期大学が創立50周年を迎えることは、大変感慨深いです。幼児教育科ができて3年目に奉職したときにはA棟とB棟しかありませんでしたから、目覚ましい発展の歴史を感じます。さらに発展され、「常磐短期大学ここにあり！」となられることをご祈念申し上げます。



在職当時の1枚



1978～1979年 幼児教育科



1976～1977年 教養科



1977～1978年 幼児教育科



1976～1977年 教養科



1973年 家政科家政専攻



1976～1977年 家政科食物栄養専攻

## その時代 [1968～1980]

1960年代後半から日本の高度経済成長は落ち着き、世界第2位の経済大国として安定成長の時代へ入り、第二次ベビーブームを迎え、成熟と多様化の時代が幕を開けます。これまで作業着だったジーンズがファッションとして定着し、カジュアルでバリエーション豊かなファッションや文化が若者の間で流行します。また、1974年には茨城県で「水と緑のまごころ国体」をテーマに国民体育大会が開催されました。広大な自然の中での開閉会式は「史上空前で絶後」の華麗さを誇っています。



茨城国体の開会式

## 学校法人常磐大学及び世界・地域の出来事

- 1968年 常磐学園短期大学に幼児教育科を設置
- 1969年 常磐学園短期大学附属幼稚園設置認可  
アポロ11号月面着陸に成功する
- 1970年 常磐学園短期大学附属幼稚園を開園  
大阪万博開催
- 1971年 茨城交通茨鉄線、大学前―赤塚間廃止
- 1972年 水戸市公設地方卸売市場開場  
冬季オリンピック(札幌)開催
- 1973年 国道6号バイパス、全線4車線で供用開始
- 1974年 茨城国体開幕
- 1975年 常磐学園短期大学に教養科を設置
- 1978年 みとサントピア開店  
成田空港開港
- 1980年 イラク・イランが全面戦争に突入



1990～1991年 経営情報学科

# 1981-1995

昭和56年—平成7年

## 経営と情報を学問として捉える新学科

常磐学園短期大学創設から四半世紀を経た1990(平成2)年に、経営情報学科が開設されました。世界中がボーダレス化とグローバル化に向かい、「経済と情報が世界を制する」と認識されてきたこの時代に、まさにタイムリーな開設でした。学科の特徴は、経営学と情報学を2つのコースに分けずに一つの生きた学問として捉え、高度情報化社会に対応する教育体制がとられたことです。社会で即戦力になるために必要なコンピュータ実技に加えて、経営・会計分野の基礎から実務までを幅広く学べる内容でした。「高等教育もまた、一部の選ばれた者たちだけのものではなく、広く社会に開放されていなくてはならない」という学科設立の趣旨から、経営情報学科開設を機に短期大学を男女共学にし、男子にも門戸を開くことになりました。そして1995(平成7)年には、全学共用施設として総合情報センター(現:Q棟)が完成しました。これにより、マルチメディア、インターネットなど特色あるコンピュータ教育が充実しました。

### 私の思い出…

### これからも常磐短期大学を守り育てて行って欲しい



坂本 徹朗

常磐短期大学経営情報学科教授、常磐短期大学学部長を経て2002年3月退職。

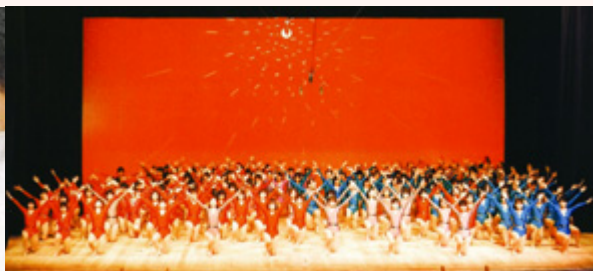
経営情報学科開設2年目に平成不況による就職氷河期に突入し、学生の就職先となる企業を走り回ったことが思い出されます。今の時代はコンピュータは人々の生活に密着し、人間はコンピュータと一体として存在するようになるという予測もあります。そうした社会で生きるにはセンスが必要です。学校で習ったことは古くて役に立たないように見えますが、そのセンスは育成されているので、卒業生の皆さんは自信を持って立ち向かって欲しいです。少子化の影響を受けて数多くの学校が縮小や廃校を余儀なくされているなか、50周年を迎えるということは大きな祝福を受ける価値があります。独自の教育文化圏を形成している常磐短期大学を、これからも守り育てて行っていただきたいです。



在職当時の1枚



1983～1984年 幼児教育科



1985～1986年 幼児教育科



1983～1984年 家政科家政専攻



1982～1983年 教養科



1981～1982年 家政科食物栄養専攻



1986～1987年 教養科



1990～1991年 教養学科

## その時代 [1981～1995]

「科学万博—つくば'85」の開催により、常磐自動車道が首都高速と直結するなど、交通インフラが整備され、後に会場跡地は工業団地として再開発されます。1960年代頃からはじまる研究学園都市構想をアピールするイベントとして万博は大成功します。当時日本は、エレクトロニクスの応用技術で世界を席巻し、ウォークマンやファミコンなど世界的ヒット商品を生み出します。「新人類」という言葉が流行語となったのもその頃で、新しい感性や価値観をもった若い世代が注目を集める時代でした。



つくば万博会場

## 学校法人常磐大学及び世界・地域の出来事

- 1982年 フォークランド紛争停戦
- 1983年 常磐大学設置認可  
常磐大学開学
- 1984年 常磐自動車道使用開始
- 1985年 国際科学技術博覧会(科学万博—つくば'85)
- 1986年 チェルノブイリ原発事故
- 1987年 常磐学園短期大学の学科名称変更
- 1988年 常磐大学の人間科学部に組織管理学科を設置  
ソウル五輪開幕
- 1989年 常磐大学大学院に人間科学研究科人間科学専攻修士課程を設置  
昭和天皇逝去
- 1990年 常磐学園短期大学を常磐大学短期大学部に名称変更し、  
経営情報学科を設置、男女共学化  
水戸芸術館オープン
- 1991年 湾岸戦争に突入
- 1993年 常磐大学大学院に人間科学研究科人間科学専攻博士課程  
(後期)を設置  
サッカーリーグ開幕
- 1995年 地下鉄サリン事件発生



2003~2004年 キャリア教養学科

# 1996-2005

平成8年—平成17年

## 教養学科と経営情報学科の統合で 新たな未来へ

教養科が開設したのは1975(昭和45)年。以来、幅広い教養教育を行うと共に社会の変化に応じて、教養に裏付けされた実務教育を行ってきました。また、1990(平成2)年に開設された経営情報学科では、経営と情報のハイブリッドな専門教育を行い、情報化社会の企業経営の担い手を育成してきました。そして2003(平成15)年、教養学科と経営情報学科を統合し、キャリア教養学科が設置されました。両学科の長所を合わせることで、基礎的教養を備えた新しい時代の実務者の育成が可能になったのです。コースはキャリア教養コース、ビジネス経営コース、オフィス情報コースの3コース。社会に出てすぐに役立つスキルと、それを生かす知識と人間性を兼ね備え、企業や地域で活躍できる人材の育成を目的としました。キャリア教養学科で学ぶことが、学生自身の生涯にわたるキャリア形成の出発点になることを目指したのです。その後、キャリア教養学科は、常磐短期大学の学科構成の大きな柱になりました。

### 私の思い出…



佐藤 啓子

キャリア教養学科教授、学科長を経て2005年3月退職。常磐短期大学名誉教授。

### ずっと地域の大切な教育機関であってください

教養学科で長い年月、数えきれない学生たちと学びました。教員志望で学ぶことに真剣に取り組んでいた学生、「マリーアントワネットの生き方」を研究テーマにした学生など、学生たちの顔が思い浮かびます。キャリア教養学科の魅力は、自主的に考えて学べることです。自分の考えをしっかりと人に伝える能力、コミュニケーション力が身につく、さらには人類の知恵を学ぶことができます。学生は生き生きと研究し、皆2年間で驚くような成長を遂げていました。卒業生の皆さんが、常磐短期大学の同窓会に参加されることをお待ちしております。常磐短期大学は、ほとんど私のすべてでした。これからもずっと、学生や卒業生を支える地域の大切な教育機関であってください。



在職当時の1枚





2003～2004年 キャリア教養学科



2003～2004年 キャリア教養学科



2003～2004年 生活科学科生活科学専攻



2000～2001年 生活科学科食物栄養専攻



1996～1997年 幼児教育学科

## その時代 [1996～2005]

昭和の栄光を物語る「大量生産大量消費」が行き詰まりを見せるなかで、「情報通信産業」が新しい地帯を開いていきます。1995年に発売されたwindows95によってインターネットの個人利用が拡大し、2000年にはiモードが爆発的にヒットします。日々進化するIT技術は、コミュニケーションのスピードを短縮し、瞬時に世界とつながることを実現しました。そしてさらにグローバル化が進み、暮らし方やビジネスにおいても国際感覚が求められる時代が到来しました。



茨城県庁

## 学校法人常磐大学及び世界・地域の出来事

- 1996年 常磐大学に国際学部を設置
- 1998年 長野冬季五輪大会開幕
- 1999年 常磐短期大学の幼児教育学科を常磐短期大学に名称変更  
東海村のJCOで臨界事故  
茨城県庁舎竣工
- 2000年 常磐大学にコミュニティ振興学部を設置  
常磐女子高等学校を常磐大学高等学校に名称変更し、男女共学化  
iモードが爆発的にヒット
- 2002年 常磐短期大学の幼児教育学科を幼児教育保育学科に名称変更
- 2003年 常磐短期大学の教養学科および経営情報学科を募集停止  
常磐短期大学にキャリア教養学科を設置  
米英軍、イラク戦争開始
- 2004年 常磐大学大学院にコミュニティ振興学研究所コミュニティ振興学専攻修士課程を設置  
常磐大学の人間科学部人間関係学科および組織管理学科を募集停止／国際学部国際協力学科および国際ビジネス学科を募集停止／人間科学部心理教育学科および現代社会学科を設置／国際学部国際関係学科(国際協力学専攻、国際ビジネス学専攻)および英米語学科を設置
- 2005年 学校法人名称を「常磐学園」から「常磐大学」に変更  
常磐大学大学院に被害者学研究所被害者学専攻修士課程を設置  
常磐短期大学附属幼稚園を常磐大学幼稚園に名称変更  
つくばエクスプレス開業



2010年 人間科学部健康栄養学科

# 2006-2015

平成18年—平成27年

## より高度な専門教育を目指して進化

常磐短期大学では開学以来、栄養士の養成を行ってきました。社会に出て即戦力となる栄養士を多く輩出し、茨城県内で最も伝統のある栄養士養成校として、地域の健康づくりに貢献してきました。時代は21世紀になり、栄養士には医療チームや保健チームの一員としての医学的知識や、研究能力が求められるようになりました。より高度な専門教育や幅広い教養教育を行うには、管理栄養士課程の4年制教育が必要となります。そこで短期大学の生活科学科食物栄養専攻を発展させ、2008(平成20)年に常磐大学人間科学部に健康栄養学科を設けました。時代の要請である健康栄養学のエキスパートを育成し、管理栄養士国家資格を取得できる学科として新たなスタートを切ったのです。4年間を有効に活用し、人間科学部健康栄養学科ならではの人間を知る科学教育が行われることが特徴で、短期大学時代からの志を継ぐ学生たちが、カウンセリング能力やコミュニケーション能力を持つ管理栄養士に育っています。

### 私の思い出…

### 卒業生が社会で活躍していることが嬉しい



千葉 茂

常磐短期大学生活科学科教授・学科長を経て常磐大学人間科学部教授・学科長に就任し、2014年3月に退職。常磐大学名誉教授。

私が短大で指導していた頃は、勉強・校外実習・クラブ活動に加えて、栄養士の資格取得や就職活動まで文字通り短期で行うので、総じて意欲的な学生が多かったように思います。還暦にして突然、管理栄養士課程を創設するという指令が下り、人生最大の試練が訪れました。限られたスペースを改築して、新学科の教室や研究室をつくるため、私のポケットにはいつも巻尺と方眼紙が入っていました。創立50周年を迎え、おめでとうございます。県下の名門大学の隆盛に多少なりとも貢献できたことを誇りに思います。教員にとって最も嬉しいのは、卒業生諸君が社会で活躍していることを実感できた時です。これからも、常磐短期大学の灯りを燃やし続けて欲しいと思います。



在職当時の1枚



2012年 幼児教育保育学科



2012年 キャリア教養学科

2011年  
キャリア教養学科

## その時代 [2006~2015]

バブル経済の崩壊後、サブプライムローン問題を発端とする世界的な経済低迷は、「失われた10年」、さらには「失われた20年」とも呼ばれています。成長期に強化された交通体系は、東京一極集中の促進材料となり、地方経済はより不況の煽りを受けます。そして2011年3月11日、大地震が東日本を襲います。電気が消え、道路が寸断され、突然いつもの日常が失われる体験をします。それは家族の絆や地域のことを見直すきっかけとなった出来事でした。



震災で被害を受けた水戸市の図書館の様子

## 学校法人常磐大学及び世界・地域の出来事

- 2006年 常磐大学のコミュニティ振興部に地域政策学科を設置
- 2007年 智学館中等教育学校設置認可  
米国サブプライムローンの焦げつぎが急増
- 2008年 常磐大学の人間科学部心理教育学科を募集停止／国際学部国際関係学科(国際協力学専攻、国際ビジネス学専攻)を募集停止／人間科学部に心理学科、教育学科および健康栄養学科を設置／国際学部経営学科を設置  
常磐短期大学の生活科学科食物栄養専攻および生活科学科生活科学専攻を募集停止  
智学館中等教育学校を開校  
北京五輪大会開幕  
リーマン・ブラザーズ破綻
- 2009年 リヴィン水戸店閉店
- 2010年 小惑星探査機「はやぶさ」が7年ぶりに地球に帰還
- 2011年 東日本震災発生
- 2013年 常磐大学大学院に被害者学研究科被害者学専攻博士課程(後期)を設置
- 2014年 消費税が8%に引き上げ
- 2016年 常磐大学大学院の被害者学研究科被害者学専攻修士課程・博士課程(後期)、コミュニティ振興学研究科コミュニティ振興学専攻修士課程を募集停止

# 入学式



1970年代



1980年代



# ときわ祭



1990年代



2000年代



2015年



## キャリア教養学科

### 異文化体験・英語学習

キャリア教養学科では長年、イギリスでの「国際文化研修」という授業科目を開講し、学生の語学研修をサポートしています。さらに、2015年度からは「キャリア・イングリッシュⅠ・Ⅲ」という授業科目で、福島県にある英国の生活を体験できる施設、ブリティッシュヒルズで2泊3日の研修を行っています。

「国際文化研修」では、毎年イギリスのチチェスター市でホームステイをしながら語学研修を受け、英語力を身につけると同時に現地の文化に触れる体験をします。授業だけでなく、日本とは違った環境での日常生活、そして他の国からの留学生たちやホストファミリーとの交流を通じて、学生たちは得難い経験をしています。事前研修で各自が課題を決めて活動計画を作成し、それに基づいたフィールドワークも現地で行っています。異国の地で自分自身の力で学ぶ経験をした学生たちは、帰国後は人間的にも大きく成長したように感じられます。

また、ブリティッシュヒルズでは、短い期間ですが本格的なイギリス文化に触れることができ、協力しながら英語でゲームをすることなどにより、学生間の交流を深めるなど、有意義な体験をしています。

このようにキャリア教養学科では、異文化体験を通して学生たちが外の世界に心を開き、社会への理解を深めることを促進しています。そして英語学習により、コミュニケーションの可能性を広げています。



2015年2月 「国際文化研修」



2015年8月 「国際文化研修」



2015年5・6月 「キャリア・イングリッシュⅠ・Ⅲ」(ブリティッシュヒルズでの研修)



### 就職に向けた活動

就職活動は、学生たちにとって重要な感心事の一つです。特に短期大学は2年間という短い期間のため、入学時から就職活動が既に始まっているとも言えます。このような状況の中で、キャリア教養学科では、就職に関わる多様な活動を行っています。

学生たちの主体的な活動として、2014年度から就活サークルとして始まったのが「Job Seeking研究会」です。このサークルは、学生有志が就職活動の筆記試験対策勉強会として立ち上げたもので、意欲的な多数の学生が集まり、精力的に勉強会を開いています。現在では学生たちからの積極的な働きかけにより、有志の職員も参加し、就職相談や添削指導も行われるようになりました。加えて、就職活動を終えた2年生の協力もあり、ますます活動の幅を広げています。

また、2015年度は就職への意識付けのため、キャリア教養学科の学生を対象としたキャリア支援センター主催の「業界見学バスツアー」が開催され、就職活動が始まる前に、業界の動向や会社・仕事を深く理解する機会が設けられました。2016年1月15日に実施されたこのツアーには、30名ほどの1年生が参加し、常陽銀行とイオンリテールを訪問。企業の皆さんとの対話を通して、就職への意識を高めることができました。

このように就職という大きな目標に向かって学生たちは主体性を発揮し、自分たちの社会性を高める活動を日々行っています。



2016年2月 就活サークル「Job Seeking研究会」



2016年1月 「業界見学バスツアー(常陽銀行、イオンリテール)」

## 幼児教育保育学科

### 新入生歓迎ティーパーティー、 クラスマッチ

幼児教育保育学科では、2年間の限られた時間の短大生活に少しでも早く慣れ、充実した学生生活を送ってもらいたいという思いから、新入生の歓迎を目的とした行事を二つ設けています。

一つ目は4月のティーパーティーで、2年生による歌や手遊びの披露、教員紹介クイズなど、1年生と2年生、及び教員が交流する場になっています。最初は緊張気味に会場に入ってくる1年生も、同じグループになった同級生や先輩と交流するうちに、笑顔になっていきます。

二つ目は5月のクラスマッチで、大縄跳びとドッジビー（ドッジボールをフライングディスクで行う競技）をクラス対抗で開催します。大きな声を出して力を合わせることで、互いに親睦を深めます。指導教員もチームに入るので、普段は見ることのできない教員のジャージ姿もまた新鮮です。学生はもちろんですが、教員がフライングディスクをキャッチすると、一層大きな歓声が上がります。1位から8位まで順位がつくので、真剣に競技に取り組んだ分、負けたチームは本気で悔しがり、勝ったチームは誇らしげに大喜びする様子が見られます。

こうした行事を通して、友人や教員との関係が深まり、幼児教育保育学科の学生たちは、保育者になるという共通の目標を持って2年間の勉強を励んでいきます。



2015年5月 クラスマッチ



### 幼教フェスタ

12月には幼教フェスタが開催され、それまでの学びの成果を発表します。1年生が披露するのは、歌を交えたオリジナル劇です。「声楽」及び「児童文化」という授業の中で、教員の指導を受けながら、脚本、演出、衣装、大道具まで、すべて学生が自分たちの手で作り上げます。

2年生はステージでのダンスと、課題研究発表を行います。課題研究は教員の指導のもと、保育者になる上で役立つ技能や知識を高めることを目的とした授業です。発表のテーマとしては、ハンドベル演奏、保育活動の実践研究、植物栽培、運動遊びの指導、障がい児への支援研究等があります。ダンスは授業の空き時間を利用して、学生たちだけで振り付けや衣装を考えます。2年間の集大成として、より一層学生同士の団結が深まります。

運営面も、教員指導のもと、学生有志による実行委員会が行っています。ポスターやプログラムの作成、ステージマネージャー、受付等、裏方の仕事を経験することは、保育現場に就職した後に、必ず役に立つことです。

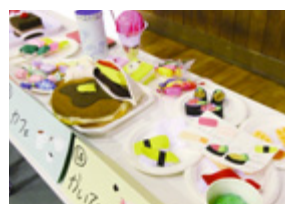
幼教フェスタは、学生にとっての一大イベントであり、保育者になるために必要な制作や表現の技術、企画運営の方法、そして仲間と協力して物事を達成することなどを学ぶ好機となっています。



2013年12月 「幼教フェスタ」演劇



2014年12月 「幼教フェスタ」ハンドベル演奏

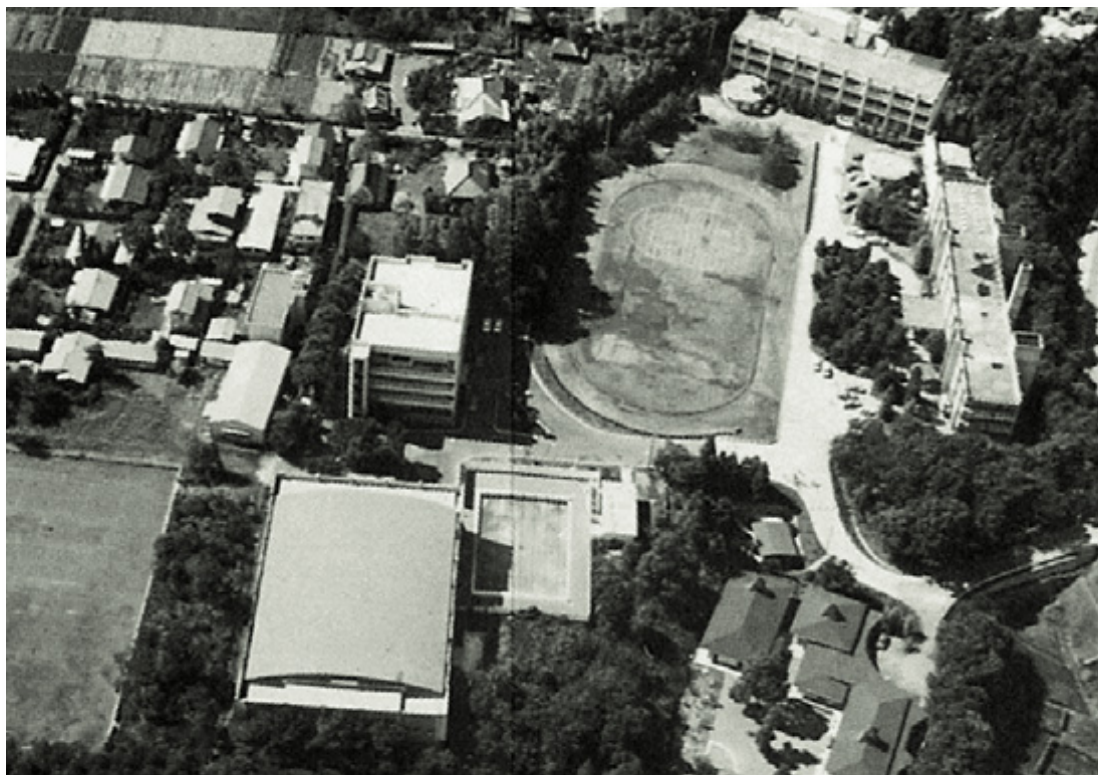


2015年12月 「幼教フェスタ」課題研究の展示発表

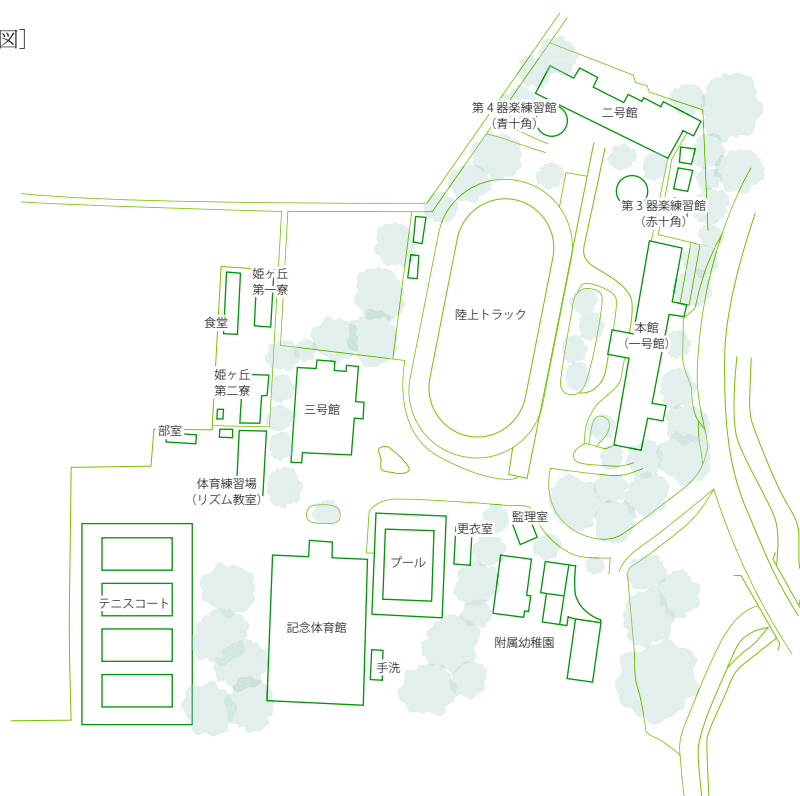


# 1975頃

[航空写真]



[校舎配置図]





# 1986



[航空写真]



[校舎配置図]



# 1995

[航空写真]



[校舎配置図]



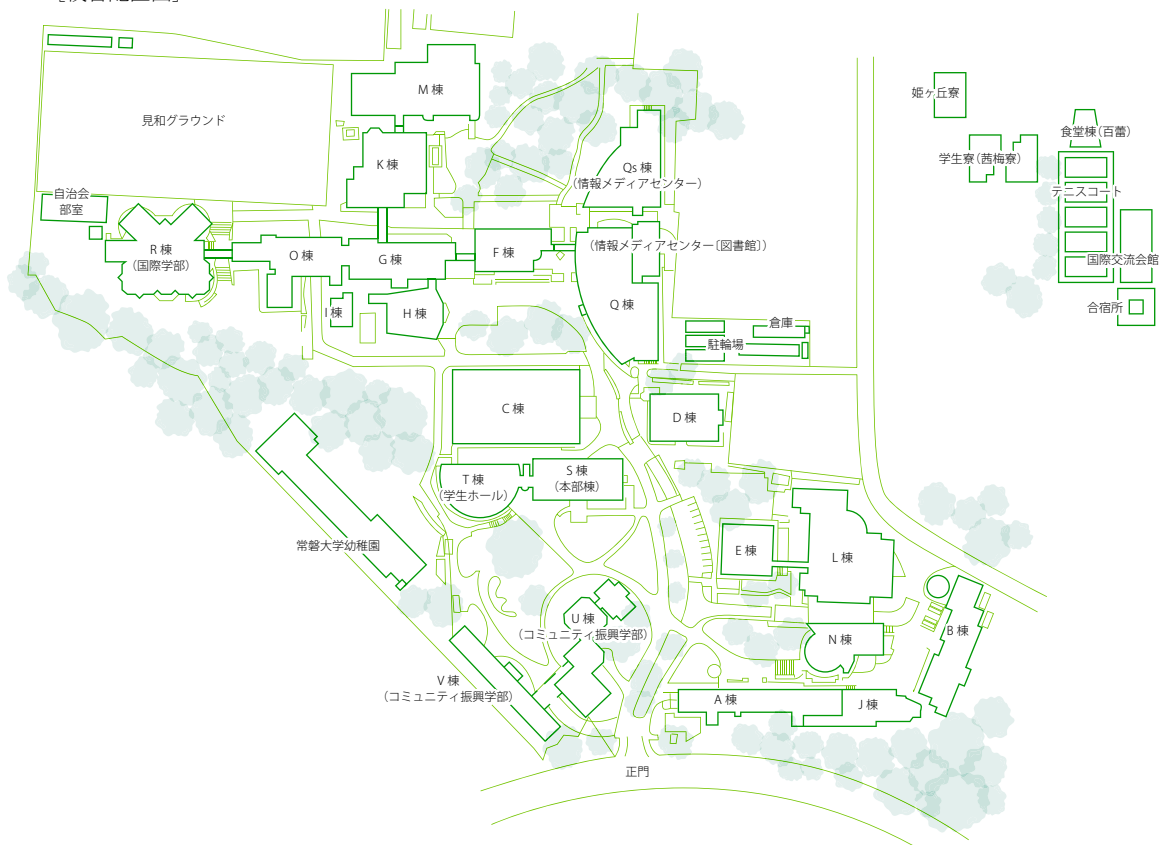
# 2015



[航空写真]



[校舎配置図]



# 施設の変遷

The Change of Facilities



A棟



B棟



幼稚園舎

1966

▼寄宿舍(旧:姫ヶ丘寮第一寮)竣工 1967

▼B棟(短期大学[幼児教育科]校舎)竣工 1968

▼第一・第二・第三器楽練習館竣工 プール竣工 1969

▼幼稚園舎竣工 体育練習場(リズム教室)竣工 1970

▼第四器楽練習館竣工 幼稚園第二舎竣工 1971

▲A棟(旧:短期大学[家政科]校舎、現:人間科学部[健康栄養学科]棟)竣工



D棟

1975

D棟(旧:短期大学[教養科]校舎、現:短期大学・コミュニティ振興学部棟、心理臨床センター)竣工

清心館(宿泊・学習館)竣工 1976

テニスコート(現:国際交流会館東側)竣工 ▶ 1981

E棟(旧:本部棟、現:保健室、学生相談室・ブックセンター、地域連携センター)竣工

1973

テニスコート(C棟南側)竣工 ▲

1982

1983

▲F棟(旧:図書館、現:人間科学部棟、教員用ラウンジ)竣工  
C棟(人間科学部棟)竣工  
H棟「大講義室」竣工



E棟



F棟



Qs棟



茜梅寮



S棟・T棟

S棟(本部棟)、T棟(学生ホール)竣工 ▶ 1999

U棟・V棟(コミュニティ振興学部棟)竣工 ▶ 2000

2002 ◀ 合宿所竣工

2004 ◀ 学生寮「茜梅寮」竣工

2005 ◀ Qs棟(情報メディアセンター)竣工、同窓会館竣工

2006 ◀ 諸澤みよ記念館竣工、U棟にアドミッションセンターを増築

2011 ◀ A棟の時計塔を東日本大震災の被害により撤去

2012 ◀ 学生寮「姫ヶ丘寮」竣工



合宿所



体育館

1972 ◀C棟「常磐学園創立50周年記念体育館」竣工  
寄宿舎(旧:姫ヶ丘寮第二寮)竣工



L棟

1984

▲I棟「動物心理学研究棟」竣工  
J棟(短期大学棟(音楽棟))竣工  
テニスコート(見和グラウンド東側)竣工



J棟

1985

▲K棟(旧:人間科学部棟、  
AVフロアー、電算機センター、  
現:人間科学部・国際学部・コミュニテイ  
振興学部棟、アスレチックルーム)竣工

1986 ◀L棟(旧:学生食堂、セミナーハウス、OAセンター、  
現:学生食堂、ゲストハウス)竣工

1988 ◀M棟(人間科学部棟)竣工

1990 ◀N棟(短期大学(旧:経営情報学科)棟)竣工

1991 ◀O棟(人間科学部棟)竣工

1993 ◀P棟「国際交流会館」竣工

1995 ◀Q棟(旧:総合情報センター、  
現:国際交流語学学習センター、  
情報メディアセンター(図書館)、  
国際被害者学研究所)竣工

1996 ◀R棟(国際学部棟)竣工

1997 ◀幼稚園舎新築



N棟



Q棟



国際交流会館





## 大谷倫子さんと友珠美さんは、幼児教育(保育学)科の卒業生と在学学生親子です。

### ●常磐短期大学に進学された理由は？

倫子 自分の幼稚園時代の先生が大好きで、今でも交流を持っているのですが、そういう先生になりたいと思って、常磐短期大学の幼児教育科を選びました。

友珠美 私は常磐短期大学附属幼稚園に通ったのですが、先生方が優しく、母も常磐の幼児教育科を卒業しているので、目指そうと思いました。

### ●学生生活についての感想は？

倫子 演劇部に所属し、いつも部室に皆で集まって演劇の話をしていました。幼児教育(保育学)科の学生数は今は1学年140名だそうですが、私の頃は100名でした。同じ目標を持っていましたから一体感があり、学生生活は楽しかったですね。授業では美術担当の鎌田先生の制作とか、田中先生の児童言語がとても興味がありました。

友珠美 学外の実習にはまだ行っていませんが、実践に役立つ実習が多いのでやりがいがあります。

### ●実習はお母様の頃から豊富な学校なのですか？

倫子 そうですね、幼稚園、保育所、障がい児の施設で実習をしました。障がい児施設での実習は泊まり込みで10日間行い、嬉しかったことや辛いこともあり、友達と夜中まで話し込んだことがいい思い出です。娘が今度、実習に行くので頑張りたいと思います。

### ●常磐短期大学に入学してよかったと思えますか？

友珠美 入学してよかったです。今までの学生生活では、幼教フェスタが一番心に残っています。課題研究の展示発表とクラス別のステージ発表があり、幼児教育保育学科伝統のイベントなのですが、皆で作る達成感がありました。

### ●常磐短期大学のカラーはありますか？

友珠美 幼児教育保育学科の学生は、幼稚園教諭や保育士を目指しているのでクラスの皆が明るいです。

倫子 私たちの時代は、個性的でもあるけれどやる時はやるという人が多かったですね。皆が資格を取るという目標がありましたから。

### ●卒業後のお仕事は？

倫子 笠間市の公立の保育所に11年間勤務し、その後、母の介護をするために仕事を辞めました。保育士という仕事を、私は

天職だと思っていたので本当は辞めたくなかったのです。介護をしながら子育てをして、子どもたちは6人全員が常磐の幼稚園を卒業しました。

### ●先輩として母として、お母さんの存在は？

友珠美 今、母は仕事をしていて、疲れて帰って来ても普通に家事をこなしているのはすごいと思います。

倫子 そう言ってもらえると、嬉しいです。現在の職場でも、幼児教育科で学んだことや幼児教育に携わった経験が、人を育てるということに生かされています。

### ●創立50周年を迎えるにあたってのメッセージをお願いします。

倫子 後輩の皆さんに伝えたいのは、愛を与えたら、見返りを願うのではなく、それで自分が喜びとか感謝を味わえるような人になってほしいということです。そうすれば、素晴らしい人生を送れると思います。常磐短期大学は、これからもずっと続いて欲しいです。

友珠美 50周年を迎えることは、とても素晴らしいことだと思います。その歴史の中に、母と私が存在することが嬉しいです。



大谷 友珠美さん  
(幼児教育保育学科2年生)  
インタビュー時1年生

大谷 倫子さん  
(幼児教育科1978年度卒業生)

### 一・久慈の山脈遥かにも

瑠璃に翡翠に澄む空よ  
ああ若き日の光あり  
教養高め麗しく  
こころの園に咲き匂ふ  
理想の花を挿頭しつつ  
ともに登らん娘が丘  
常磐短大松さやか

### 二・見和の流音優しくも

花に紅葉に啼く鳥よ  
ああ清らなる雅あり  
情操深め美しく  
こころの琴に鳴り響く  
愛の調べを弹奏でつつ  
ともに登らん娘が丘  
常磐短大松さやか

# 1966

[1966年度 家政科 一般教育]

学科目	系列	授業科目	開設単位数		
			必修科目	選択履修科目	自由単位
一般教育科目	人文科学	倫理学		2	
		文学		4	
		音楽		2	
		美術		2	
	社会科学	法学 (日本国憲法)		2	
		社会学		2	
		経済学		2	
	自然科学	化学	2		
		統計学		2	
		地学		2	
		生物学		2	
外国語科目	英語	2	2		
保健体育	体育理論	1			
	体育実技	1			

# 2015

[2015年度 現代教養講座]

授業科目の区分	授業科目名	授業の方法	単位数		最低必要単位数
			必修	選択	
心の充実	心の充実	講義	2		2
思想と文化	思索と思潮	〃		2	2
	文学の世界	〃		2	
	歴史の認識	〃		2	
	色彩論	〃		2	
	ことばとコミュニケーション	演習A		2	
	芸術の世界	講義		2	
社会と人間	企業と経営	〃		2	2
	経済とくらし	〃		2	
	教育と発達環境	〃		2	
	法と個人	〃		2	
	スポーツ論	〃		2	
情報と科学	環境と情報	〃		2	2
	健康と科学	〃		2	
	食と科学	〃		2	
	数理と論理	〃		2	
	心理学	〃		2	
			2	32	8

[1966年度 家政科家政専攻の専門教育科目]

科目		講義・演習	必修単位	選択単位	
専門教育	一般家政	家政管理学	講義	2	
		家族関係	〃	2	
		家庭経済学	〃	2	
		住居学	〃	2	
		家庭教育	〃		2
		社会福祉	〃		2
	食物関係	食品学	〃	2	
		栄養学	〃	2	
		調理学	〃	2	2
		調理実習	実習	2	2
	被服関係	食品加工貯蔵	講義		2
		被服構成(和)	〃	2	2
		被服構成(洋)	〃	2	2
		被服整理	演習	2	
	その他衛生	被服材料学	講義	2	
		服飾デザイン	〃		2
		手芸	〃		2
		育児学	〃	2	
	その他衛生	家庭看護学	〃	2	
衛生学		〃	2	2	
家庭機械工作		演習		2	
計			30	22	

[1966年度 家政科食物栄養専攻の専門教育科目]

学科系列	科目	講義・演習 実習の別	必修単位	選択単位	
専門教育	栄養学	栄養学総論	講義	①	
		栄養化学	〃	③	
		栄養生理学	〃	②	
		栄養病理学	〃	②	
		特殊栄養学	〃	②	②
		特殊栄養実習	実験		③
		栄養学実験	〃	①	
	食品学	食品化学	講義	②	
		食品材料	〃	②	
		応用微生物	〃	①	
		食品加工貯蔵	演習	③	
		食品学実験	実習	②	
	食品衛生	食中毒	講義	①	
		食品添加物	〃	①	
		食品衛生対策	〃	①	
		食品衛生学実験	実習	①	
	公衆衛生	環境衛生	講義	①	
		衛生行政統計	〃	①	
		疫学及び疾病予防	〃	①	
		母子衛生学校保健	〃	①	
	栄養指導	公衆衛生実習	実習		②
		栄養指導理論	講義	③	
		給食管理理論	〃	①	
	調理	給食管理実習	実習		②
		調理理論	講義	①	
		調理実習	実習	②	②
		食糧経済	講義		②
	社会福祉	〃	②		
一般家政関係	被服構成(和)	実習		2	
	被服構成(洋)	〃		2	
	被服学概論	講義	2		
	住居学	〃		2	
	家庭管理学	〃	2		
	家族関係	〃	2		
	育児学	〃		2	
	衛生学	〃		2	
家庭機械工作	演習		2		
計			44	25	



[2015年度 キャリア教養学科授業科目]

授業科目の区分	授業科目	授業の方法	単位数	
			必修	選択
キャリア形成科目	ジェンダーと職業	講義	2	
	日本語表現法	講義	2	
	キャリア形成演習Ⅰ	演習B	1	
	キャリア形成演習Ⅱ	演習B	1	
	キャリア形成演習Ⅲ	演習B	1	
	イングリッシュ・リテラシーⅠ	演習B	1	
	イングリッシュ・リテラシーⅡ	演習B	1	
	プレゼンテーション概論	講義	2	
	プレゼンテーション演習Ⅰ	演習A	2	
	プレゼンテーション演習Ⅱ	演習A	2	
	健康づくりと運動	講義	2	
	健康スポーツ	実技		1
	課題研究Ⅰ	演習B	1	
	課題研究Ⅱ	演習B	1	
	課題研究Ⅲ	演習B	1	
	インターンシップ	実習A		2
	情報活用	演習A	2	
	表計算演習	演習B	1	
	国際文化研修	演習A		4
	キャリア教養科目	心理学入門	講義	2
社会心理学		講義	2	
消費者心理学		講義	2	
民法		講義	2	
ヨーロッパ近現代史		講義	2	
歴史学概論		講義	2	
外から見た日本		講義	2	
民族の文化と歴史		講義	2	
異文化理解		講義	2	
日本文化論		講義	2	
芸能と社会		講義	2	
言語表現法		演習B	1	
キャリア・イングリッシュⅠ		演習B	1	
キャリア・イングリッシュⅡ		演習B	1	
キャリア・イングリッシュⅢ		演習B	1	
キャリア・イングリッシュⅣ		演習B	1	
秘書学概論		講義	2	
秘書学演習		演習A	2	
秘書実務Ⅰ		演習A	2	
秘書実務Ⅱ		演習A	2	
国際秘書概論	講義	2		
色彩心理学	講義	2		
色彩演習Ⅰ	演習B	1		
色彩演習Ⅱ	演習B	1		
ビジネス経営科目	経営学入門	講義	2	
	経営管理論	講義	2	
	人的資源論	講義	2	
	企業環境論	講義	2	
	企業関連法	講義	2	
	産業カウンセリング	講義	2	
	マーケティング論	講義	2	
	地域社会と中小企業	講義	2	
	財務会計論	講義	2	
	財務分析論	講義	2	
	経済と社会	講義	2	
	初級簿記	講義	2	
	初級簿記演習	演習B	1	
	中級簿記	講義	2	
	中級簿記演習	演習B	1	
	ファッション素材論	講義	2	
	ファッション素材演習Ⅰ	演習B	1	
	ファッション素材演習Ⅱ	演習B	1	
	ビジネス実務論Ⅰ	講義	2	
	ビジネス実務論Ⅱ	講義	2	
ビジネス実務演習Ⅰ	演習A	2		
ビジネス実務演習Ⅱ	演習A	2		
情報・医療事務科目	情報科学入門	講義	2	
	情報ネットワーク論	講義	2	
	情報数学	講義	2	
	データ構造とアルゴリズム	講義	2	
	経営科学	講義	2	
	情報と人間	講義	2	
	パソコンセットアップ演習	演習A	2	
	Java入門	演習A	2	
	Java応用	演習A	2	
	ホームページ作成演習	演習A	2	
	データベース入門	演習A	2	
	データベース応用	演習A	2	
	プレゼンテーション演習Ⅲ	演習A	2	
	表計算応用演習	演習A	2	
	画像処理演習	演習A	2	
	インターネット・イングリッシュⅠ	演習B	1	
	インターネット・イングリッシュⅡ	演習B	1	
	医療秘書概論	講義	2	
	医療秘書実務	演習A	2	
	診療報酬請求事務	演習A	2	
解剖生理学の基礎知識	講義	2		
医学と薬理の基礎知識	講義	2		
計			19	134

[2015年度 幼児教育保育学科授業科目]

授業科目の区分	授業科目	授業の方法	単位数	
			必修	選択
教育の本質と目的	日本国憲法	講義		②
	教育原理	講義	②	
	教育史(教育制度を含む)	講義		②
	保育社会学	講義		2
	社会福祉論	講義	②	
	相談援助	演習A		②
	児童家庭福祉論	講義		②
	児童家庭福祉方法論	演習A		2
	保育原理	講義		②
	保育者論	講義	②	
	社会的養護	講義		②
	教育心理学	講義	②	
	発達心理学Ⅰ	講義	②	
	発達心理学Ⅱ	演習A	②	
	臨床心理学	演習B	①	
カウンセリング	実習B	①		
教育の対象の理解と方法	障害児保育	演習A		②
	障害児援助技術	演習B		1
	教育方法論(教育工学を含む)	講義		②
	教育課程論	講義		②
	子どもの食と栄養	演習A	②	
	子どもの保健ⅠA	講義		②
	子どもの保健ⅠB	講義		②
	子どもの保健Ⅱ	演習B		①
	乳児保育	演習A		②
	乳児保育の実際	演習B		1
	保育指導法	演習B		①
	家庭支援論	講義	②	
	保育内容総論	演習A	②	
	幼児と健康(指導法)	演習B	①	
	幼児と運動(指導法)	演習B		①
生活と遊び(指導法)	演習B		①	
保育内容の研究	幼児と環境(指導法)	演習B	①	
	幼児とことば(指導法)	演習B	①	
	ことばの教材(指導法)	演習B		①
	幼児と音楽(指導法)	演習B	①	
	リトミック(指導法)	演習B		①
	幼児と絵(指導法)	演習B	①	
	造形表現(指導法)	演習B		①
	幼児音楽教育法	演習B		①
	社会的養護内容	演習A		②
	保育相談支援	演習B		①
	教育実習(事前事後の指導を含む)	実習A		⑤
	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習A		②
	保育実習Ⅰ	演習A		④
	保育実習指導Ⅰ	演習A		②
	保育実習Ⅱ	実習A		②
保育実習指導Ⅱ	演習B		①	
保育実習Ⅲ	実習A		②	
保育実習指導Ⅲ	演習B		①	
保育者の知識と技能	国語	講義	②	
	児童文学	講義		②
	身体活動論	講義		②
	音楽の基礎	演習B	①	
	器楽Ⅰ	演習B	①	
	器楽Ⅱ	演習B	①	
	器楽Ⅲ	演習B		1
	器楽Ⅳ	演習B		1
	声楽Ⅰ	演習B	①	
	声楽Ⅱ	演習B	①	
	合唱Ⅰ	演習B		1
	合唱Ⅱ	演習B		1
	平面美術構成	演習B	①	
	立体美術構成	演習B	①	
	手作り玩具(指導法)	演習B		①
基礎体育Ⅰ	演習B	①		
基礎体育Ⅱ	演習B	①		
総合体育	実技	①		
英会話Ⅰ	演習B		①	
英会話Ⅱ	演習B		①	
コンピュータ演習Ⅰ	演習B		①	
コンピュータ演習Ⅱ	演習B		①	
児童文化(言語表現)	演習B		①	
課題研究	演習B		2	
計			37	76

[1966年度 教員名簿]

氏名	職位
諸澤 みよ	学長
諸澤 幸雄	副学長
中村 巳喜夫	教授
野村 正雄	教授
大野 成雄	教授
浜田 松吉郎	教授
丸田 秀三	教授
橘川 はつ	教授
樫村 勝	教授
富永 信定	教授
長島 俊三郎	助教授
宮川 雄一郎	助教授
武政 直子	助教授
舩田 忠雄	講師
小林 亨	講師
高瀬 暢彦	講師
稲毛 美代子	講師
川上 満雄	講師
小今井 収夫	講師
徳原 勇太郎	講師
岩下 礼子	講師
諸澤 みさを	講師
中原 経子	講師
鍛冶河内 美智子	助手
川崎 公子	助手

[2016年度 教員名簿]

2016年4月1日現在

氏名	職位	所属
富田 信穂	教授	学長
李 精	教授	副学長/キャリア教養学科
菅野 弘久	教授	キャリア教養学科長
福田 洋子	教授	幼児教育保育学科長
安田 尚道	教授	現代教養講座/キャリア教養学科
紙透 雅子	教授	幼児教育保育学科
森本 敦司	教授	キャリア教養学科
飯塚 久男	特任教授	幼児教育保育学科
市村 眞一	特任教授	現代教養講座/キャリア教養学科
橋本 安司	准教授	キャリア教養学科
酒巻 洋一	准教授	幼児教育保育学科
吉田 宏之	准教授	キャリア教養学科
室谷 直子	准教授	幼児教育保育学科
木村 由希	准教授	幼児教育保育学科
石野 裕子	准教授	現代教養講座/キャリア教養学科
大内 晶子	准教授	幼児教育保育学科
鈴木 範之	准教授	幼児教育保育学科
名城 邦孝	准教授	キャリア教養学科
船城 梓	准教授	幼児教育保育学科
村上 八千世	特任准教授	現代教養講座/幼児教育保育学科
井手 雅哉	専任講師	現代教養講座/キャリア教養学科
森 慎太郎	助教	幼児教育保育学科
笹原 康孝	助教	キャリア教養学科

広い視野，  
高い知性と教養，  
豊かな愛情，そして  
真摯な生活態度，  
そのような女性の教育が  
本学の目的であります。

大学開学以前から短期大学で掲げられていた学生の理想像

2016年11月19日 発行  
編集／常磐短期大学創立50周年  
記念事業委員会・記念誌  
ワーキンググループ  
発行／学校法人常磐大学





学校法人常磐大学

常磐大学大学院

常磐大学

常磐短期大学

〒310-8585 茨城県水戸市見和 1-430-1  
TEL.029-232-2511 FAX.029-231-6078  
<http://www.tokiwa.ac.jp/>

常磐大学高等学校

智学館中等教育学校

常磐大学幼稚園